

科目名	内科学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期
							1年 前期
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士にとって必要とされる内科疾患についての基本的な知識を修得する。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士が医療職として把握しておくべき内科的疾患について理解できる。 国家試験に則した基礎知識を身につける。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士にとって必要な臨床医学の中核である内科学の基礎的概念を理解し、説明することができることを目標とする。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	虚血性心疾患について基礎的な理解ができる。(1)						
2	虚血性心疾患の主な疾病について理解できる。(2)						
3	先天性心疾患(ASD、VSD、PDA、TOF)について理解できる。						
4	その他の心疾患について理解できる。						
5	高血圧症について病理と疾患の概要を理解できる。						
6	血管疾患について理解できる。						
7	呼吸器疾患総論、気管支炎、気管支拡張症について理解できる。						
8	肺炎、肺結核、COPD(サルコイドーシス)について理解できる。						
9	気管支喘息、間質性肺炎、じん肺について理解できる。						
10	肺がん治療、過換気症候群、睡眠時無呼吸、気胸について理解できる。						
11	消化器疾患 ～肝疾患について理解できる。						
12	胆道、脾疾患、内分泌疾患について理解できる。						
13	DM、脂質異常、高尿酸血症、腎不全について理解できる。						
14	アレルギー疾患、自己免疫疾患(SLE)、RA関連疾患、PMIについて理解できる。						
15	血液疾患について理解できる。						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 『はじめの一步の病態・病学』配布資料							
【準備学習・時間外学習】 教科書を読んで理解することを主とした予習復習が必要です。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							